

けいせん

議会だより

第23号



桂川町消防団の 年末夜警を激励



左から杉村議員、林副議長、北原副委員長、下川委員長、原中議長

12月26日(水)に町内17カ所で実施された桂川町消防団による年末夜警を、議長団と総務経済建設委員が激励しました。

この夜警は毎年、火災が発生しやすい年末に実施されています。

当日は12月にも関わらず寒さがやわらぐ中、火災予防にあたっては素早い対応を頂きありがとうございます。1月の出初式でしめより、新たな消防団活動が始まります。宜しくお願ひします」と感謝と激励の言葉をかけました。

平成31年 新年祝賀式

1月10日(木)に新年祝賀式を開催しました。

初めに井上町長から「町の基本的な方針に基づき、31年も新たな形でスタートを切る必要がある。その内容については、現在査定中で、3月議会に提案し、ご理解をお願いしたい」と年頭の挨拶を受けました。

次に、原中議長は「昨年は、7月の災害をはじめ10月23日告示の桂川町議会選挙など、あわたたしい1年でした。本年も行政・議会ともに情報を共有しながら良い1年に行きたい」と挨拶されました。



一般質問

12月定例会で次の議員が一般質問しました



柴田正彦議員

桂川町の財政状況について

問 合併が問題となった時の桂川町の財政状況は。

答(井上町長) 非常に厳しかった。公債費、つまり借金の返済が大変だった。

問 これまで、どのような取組みを行ったのか。

答(町長) 役場職員数の削減、地方債の繰上償還、職員給与の削減、また、議員発議による定数・報酬の削減など。

問 現在の財政状況とこれからの取組みは。

答(町長) 厳しい状況は続いているが、改善してきている。引き続き健全財政を堅持していく。

文化の薫る町の実現(特に、教育の条件整備)について

問 6月、大塚議員の質問に、教育施設に特化した基金の創設を検討する時期に來ていると答弁されたが、基金を創設するのか。

答(町長) 来年度予算に計上したい。

問 次代を担う子どもたちの教育のために、町独自で採用している教員は。

答(北原学校教育課長) 少人数学級実現のための教員を桂川小学校に4名、桂川中学校に2名、学力アップ推進教員を各校に1名ずつ3名、不登校等の対応教員を桂川中学校に1名配置している。

問 「文化の薫り高い心豊かな町づくり」推進のための具体的な施策は。

答(町長) あくまでも基本理念である。具体的な計画を示すものではなく、町づくりの方向性を示すものである。

高齢者への取組みについて

問 「買い物に行けない」「病院に行けない」という高齢者に対する現在の取組みは。

答(江藤健康福祉課長) 町内を4コース、1日7便の福祉バスを運行、火・金曜日は買い物通院バスを運行し、町内全域をカバーする経路で移動支援を実施している。

問 これから増えていく高齢者に対する取組みは。

答(健康福祉課長) 現行の福祉バス、買い物通院バスの運行による移動支援の継続を柱とする。

答(町長) 福祉バスの運行は近隣に比べても充実している。地域

におけるコミュニティ・助け合い心がこれからの大きな課題になる。



大塚和佳議員

保育所内外の環境改善について

問 危険箇所や環境改善した方が良いと思う箇所(特にトイレ環境)は。

答(秦 子育て支援課長) 修繕等の箇所があれば、随時行っている。

答(井上町長) 特に、教育に支障があるような環境ではない、という報告を受けている。

問 現在の施設で事故が起きた場合、保育士の責任はどうなるのか。また、今後の計画は。

答(町長) 仮定の質問には答えられないし、今後の計画も現時点

では回答できない。

「ゆのつら体験の杜」について

問 建設金額及び年間維持費は。

答(原中企画財政課長) 建築費は1億3,200万円、敷地内工事で約170万円、年間維持費は871万1千円。

問 建築するために参考とした施設は。

答(企画財政課長) 飯塚市の生活体験学校(飯塚市有安)、嘉麻市の遊人の杜(嘉麻市千手)など。

問 当初予定の収入と利用者数、及び現在までの収入と利用者は。

答(企画財政課長) 当初予定の収入は605万円、利用者2,200人。現在までの収入は約50万3千円、利用者1,220人。

問 施設利用での学校の意見は。

答(北原学校教育課長) 集団生活等や各体験活動を意欲的に取組めた。

問 教育委員会の総括は。

答(瓜生教育長) 子どもの新たな一面を見ることができた。また、地域が持っている教育資源を教材として活用し、学校での教育活動の充実から見ても大いに役立った。

副町長について

問 任期中に提案し実行に移した内容や、県とのパイプ役としての仕事内容は。

答(森山副町長) 町長を補佐し、職員の事務を監督することが私の仕事で、特にお答えすることはない。

問 来年度の計画はあるのか。

答(町長) 回答できる状況ではない。

農林業の取組みについて

問 今後の取組みは。

答(山本産業振興課長) 国や県の動向を注視しながら、今まで

実施してきた業務を行っていく。また、「地域商社いいバイ桂川」と連携した取組みを推進して行く。

問 森林経営管理法の目的と今後は。

答(産業振興課長) 対象とする森林について、市町村が必要で適当と認めた場合に、森林の経営・管理を行うことを目的としている。

答(町長) 事業内容等が確定すれば予算計上したい。



杉村明彦議員

町道・町有地の管理について

問 町道や町有地の草刈り等にかかる費用について。

また、道路脇の草刈りは、どの予算から支出しているのか。

答(小金丸建設事業課長) 今年度の草刈り伐採にかかる費用と予算については、土木作業員の賃金年間636万円と、専門業者への委託料206万円を土木費に、シルバー人材センターへの委託料1,570万円を労働費に予算計上している。

問 草刈りは計画的なのか、要望のあった順番なのか。

答(建設事業課長) シルバー人材センターの草刈り作業は、ほぼ定期的なものであり、年間を通して計画的に行っている。建設事業課所属の土木作業員が行う作業は、毎年行う定期的なものは決まった時期に、地元からの要望については基本的には要望順に作業しているが、緊急性が高いものは優先して行っている。

学校及び通学路のブロック塀について

問 問題のある箇所があったのか。

答(北原学校教育課長) 学校施設内のブロック塀について点検

を実施し、桂川中学校において1箇所、高さに対するブロックの厚さが足りない箇所があったが、この件については専門家による診断のもと現在対応を進めている。

問 通学路の安全性に問題のあるところはないか。

答(学校教育課長) 通学路については、現在県の建築指導課・県土整備事務所により、校門から半径500m以内の小中学校の通学路に面するものについて再点検が実施されており、点検結果については県より通知される予定だ。今後については、学校・PTAほか関係者で構成された通学路安全推進会議を中心に、安全点検を進めていく。

問 問題のあった場合の撤去費用の補助は桂川町にあるのか。

答(井上町長) 県においては平成30年10月より危険なブロック塀撤去に対する補助制度を創設している。現在桂川町では補助金はないが、今後この制度の利用も検討したいと考えている。



吉川紀代子議員

吉隈二区県道の改善について

問 この県道豆田・稲築線は桂川小学校・桂川中学校・志耕館高校の通学路なのに歩道がなく、子どもたちは大変危険な状況で通学している。本町は福岡県に対して歩道の設置を何回求めたか。回答はどうであったか。

答(小金丸建設事業課長) 歩道設置要望は平成12年から継続的に行っているが、両側に住宅が近接しているので実現は非常に困難であるという回答である。

問 吉隈二区は通行車両が多く、周辺住民は通行する車の振動の中で生活を余儀なくされている。何らかの対策を講ずるべきではないか。

答(建設事業課長) 振動対策については、役場から総合高校まで

の新しい道路が整備されれば、吉隈一区内の交通量は減少する事が予測され、振動も減少すると考えられる。

西鉄バスの廃止・減便後の対策について

問 廃止路線は嘉麻市営バスを利用できるようにしたが「手続きが煩雑だ」、減便になった地域は「便数が減って不便だ」の声が出ていますので、高齢者タクシー助成制度創設で問題を解決して頂きたい。

答(原中企画財政課長) 嘉麻市営バス利用にあたっては、継続して改善と周知の努力をする。高齢者タクシー利用補助制度の創設は、福祉サービスとの関連があるので難しい状況にある。今後の状況を注視して行く。

全教室空調設備設置の進捗状況について

問 現在、各自治体に空調設備設置の通知が届いていると聞か、本町はどうか。

答(北原学校教育課長) 12月4日付で国より内定の通知があった。

問 交付金だけではできないと思うが、どのようにするのか。

答(学校教育課長) 交付金は基準額の3分の1となるので不足分については別の財源にて対応する予定だ。

問 来年5月設置に向けての予定はどうか。

答(学校教育課長) 現段階では来年夏の設置に向けて作業を進めている。



下川 康弘 議員

AEDの設置について

問 AEDの設置状況は。

答(山邊総務課長) 公共施設におけるAEDの設置状況は、

役場庁舎・住民センター・福祉センター・総合体育館・各小中学校・幼稚園・土師保育所・吉隈保育所・桂寿苑・各学童保育所、計13カ所に設置している。

災害時の指定避難所は10カ所中9カ所がこの中に含まれており、人権センターのみが未設置となっている。

問 公民館や集会場にも設置すべきでは。

答(井上町長) ただ設置するだけでは意味がないので、器械の操作等も踏まえ、区長会・分館長会を通して検討していきたい。

清掃業務について

問 庁舎及び各施設の清掃業務はどうなっているのか。

答(総務課長) 平時の清掃は、平成17年度より職員が当番制で、床やトイレ・階段等を毎日行っている。

この他にも職員が開庁前に、事務所内や玄関周りの清掃を行ったり、役場作業員が定期的に庁舎敷地内の清掃を行っている。また、専門的な技術や機材・薬品を必要とするものは、専門業者に委託している。今後、職員の積極的な取り組みを促すと共に、専門業者等のアドバイスを受けながら職場の環境改善に努めて行きたい。



AEDとは・・・

突然の心停止(心臓突然死)から命を救うため、痙攣(けいれん)を起こした心臓に電気ショックを与える装置です。

操作は音声ガイダンスにより指示され、電気ショックが必要かどうかAEDが判断します。高度な専門知識を必要とせずに操作することができます。



12月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
同意第6号	桂川町教育委員会教育長の任命について	【同意】 全員賛成
議案第28号	ふくおか県央環境広域施設組合の設立について	議案28号 議案29号 議案30号 議案31号 以上の議案4件は 関連があったため 一括採決しました 【可決】 賛成多数
議案第29号	飯塚市・桂川町衛生施設組合理約の変更について	
議案第30号	飯塚市・桂川町衛生施設組合の解散について	
議案第31号	飯塚市・桂川町衛生施設組合の解散に伴う財産処分について	
議案第32号	基本協定書の締結について ※JRとの協定。	【可決】 賛成多数
議案第33号	桂川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第34号	桂川町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第35号	平成30年度桂川町一般会計補正予算（第3号）について	【可決】 全員賛成
議案第36号	平成30年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	【可決】 全員賛成
議案第37号	平成30年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	【可決】 全員賛成
議案第38号	平成30年度桂川町水道事業会計補正予算（第2号）について	【可決】 全員賛成
報告第6号	貸付金の支払請求に伴う訴えの提起（専決処分）	—

【追加議案】

同意第7号	飯塚市・桂川町衛生施設組合理議会議員の選任について	【同意】 全員賛成
-------	---------------------------	-----------

つづやき

町議となり、新しい経験に戸惑うことばかり。慣例というのが多すぎて、なかなか馴染めない。「柴田議員」と言われることにも違和感がある。教員をやめて10年、ようやく「柴田さん」と言われるようになったのに。

さて、12月17日の一般質問では、なんと、言葉がすんなりと出てこない。しどろもどろなのだ。この歳で緊張する機会があるなんて、実にありがたい。

反省点は多々ある。高齢者への取組みは、従来通りという回答だったが、取組みの充実こそが「文化の薫り高い心豊かな町づくり」ではないかと問うべきだった。

12月議会の質問と回答を別欄に掲載しているが、紙面の都合で書ききれない。詳しい内容をお知りになりたい方はご一報を！

柴田正彦